

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 8 月 20 日 (2015.8.20)

【公表番号】特表 2014-525966 (P2014-525966A)

【公表日】平成 26 年 10 月 2 日 (2014.10.2)

【年通号数】公開・登録公報 2014-054

【出願番号】特願 2014-522901 (P2014-522901)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 183/08 (2006.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

C 0 9 J 107/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 183/08

C 0 9 J 201/00

C 0 9 J 107/00

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 2 日 (2015.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

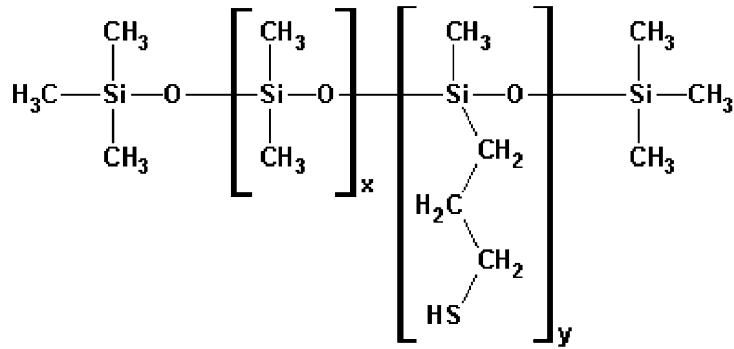
手で引き裂くことができるマスキングテープであって、

長手方向軸、並びに横方向幅及び軸を含み、第 1 の主要面、及び相対して面する第 2 の主要面を含む、ポリオレフィン支持体を備え、

前記支持体の第 2 の主要面上に感圧接着剤が配置され、前記支持体の前記第 2 の主要面は、複数の脆弱線を含む微細構造を有する手で引き裂くことができるパターンを含み、前記脆弱線の少なくともいくつかは、前記支持体と少なくともほぼ横方向に向けられた長軸を含み、

低接着バックサイズは、前記支持体の前記第 1 の主要面上に配置され、前記低接着バックサイズは、式 I I a、I I b、又は I I c の一般式を有するメルカプト官能性シリコーンマクロマーの、1 つ以上の (メタ) アクリルモノマー及び / 又はオリゴマー、並びにビニルモノマー及び / 又はオリゴマーとの 反応生成物を含み、

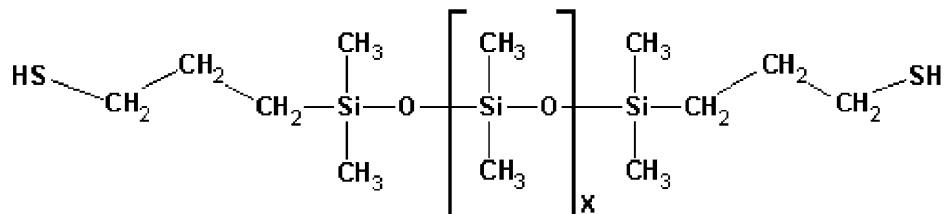
【化 1】



$$x = 20 \sim 1000 \text{ 及び } y = 1 \sim 10$$

式 I I a

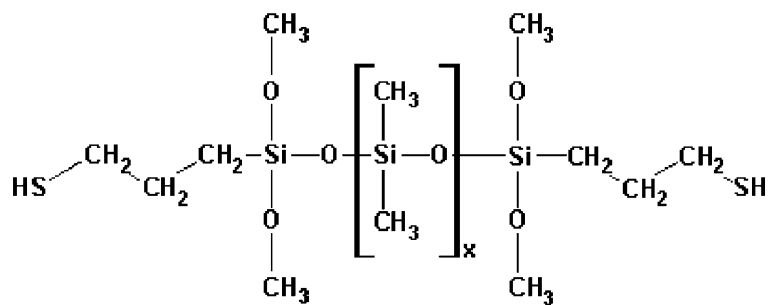
【化 2】



$$x = 20 \sim 1000$$

式 I I b

【化 3】



$$x = 20 \sim 1000$$

式 I I c

あるいは、前記シリコンマクロマーの組み合わせ又は混合物、若しくはいずれかを備える、テープ。

【請求項 2】

第 2 の表面部分を塗装しないようにマスキングした状態で第 1 の表面部分を塗装する方法であって、

一定の長さの請求項 1 の前記手で引き裂くことができるマスキングテープを、前記第 2 の表面部分に接着剤により取り付け工程と、次いで液体塗料を少なくとも前記第 1 の表面部分に適用する工程とを含む、方法。